

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	53	文化体験プログラム事業の展開					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	02	個性ある地域文化づくり					
施策	01	地域文化活動の活性化					
事業内容							
目的	様々な文化、芸術に触れる機会をつくることで、区民の文化・芸術に対する理解と関心を深めます。						
対象・手段	区内在住演奏家、区内文化芸術団体等のネットワーク化を図り、団体との協働による区民参画・創造型事業を推進します。						
成果(事業が意図する成果)							
気軽に様々な文化、芸術に触れる機会をつくることにより、区民の自主的な文化・芸術活動を活発にすることで、地域文化を活性化します。							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
文化体験プログラム参加団体数		文化体験プログラムの実施主体となる団体数			(平成19年度)に (10参加団体)の水準達成		
応募率		実定員に対する応募者数の割合			(平成19年度)に (100%)の水準達成		
					()年度に ()の水準達成		
成果の達成状況							
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
事業成果指標	目標値1	団体	0.00	10.00	10.00	10.00	
	実績1	団体	0.00	10.00	9.00	13.00	
	= /	%	0.00	100.00	90.00	130.00	
	目標値2	%	0.00	100.00	100.00	100.00	
	実績2	%	0.00	101.00	124.00	110.60	
	= /	%	0.00	101.00	124.00	110.60	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	日本舞踊、オーケストラ、和楽器、茶道、ダンスなどの文化体験プログラムを実施しました。 参加実績(9種類計) 募集人数: 460名 応募人数: 569名 参加人数: 372名						
平成19年度	茶道、染色、日本舞踊、パレエ等の13種の文化体験プログラムを実施し、3種の成人向けプログラムも展開しました。 参加実績(13種類計) 募集人数: 670名 応募人数: 741名 参加人数: 490名						

部名称		地域文化部		課名称		文化観光国際課		備 考
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度		
トータルコスト	事業費	千円	0	0	4,115	3,838	参加費（保険料等）については、事業者に直接支払う仕組みになっています。17年度は国の補助金を受け、実行委員会形式で実施しました。18、19年度は区単独で実施しました。	
	人件費	千円	0	6,670	6,624	6,608		
	事務費	千円	0	15	15	0		
	減価償却費等	千円	0	0	0	0		
	総計 = + + +	千円	0	6,685	10,754	10,446		
	受益者負担	千円	0	0	0	0		
	純計 = -	千円	0	6,685	10,754	10,446		
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	6,685	10,754	10,446		
	特定財源		0	0	0	0		
	一般財源投入率 /	%	0.00	100.00	100.00	100.00		
職員	常勤職員	人	0.00	0.80	0.80	0.80		
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00		
事業に関する検討課題								
<p>区民の自主的な文化・芸術活動を活発化し、地域文化の活性化を図るためには、主に小中学生を対象（一部プログラムは幼児、高校生も対象）として実施してきたプログラムについて、成人を対象にプログラムの拡充や実施期間の拡大を図るなど、更に多くの参加者を得る仕組みとしていくことが必要です。</p>								
評価基準に基づく評価と理由	達成度	3	事業成果指標であるプログラム参加団体数10に対して13、応募率100%に対して110%と、目標値を達成できました。					
	実施の成果	2	終了後のアンケート結果において、満足や参加継続意思を示した方がいずれも95%を超え、満足度の高い事業を実施できました。					
	効率性	3	この事業には、実績、指導力がある講師や内容に適した会場が必要です。新宿文化・国際交流財団や日本芸能実演家団体協議会等と連携し、その専門的なノウハウやネットワークを活用することで、優れた講師や会場を効率的に確保することができました。					
	行政の関与	3	低廉で気軽に多様な本物の文化・芸術を経験できる機会を提供することは、採算を重視する民間では難しく、このような機会を提供する事業を実施することは、区の責務であると言えます。					
	妥当性	3	民間では採算性や集客性等の問題から実現しにくいプログラムを実施することや、民間より低廉で気軽に文化芸術体験できる機会を提供していくことは、区民が文化芸術体験を経験する機会を増やすための方法として妥当であると言えます。					
	施策寄与度	3	3年間で延べ32の地域文化団体等と連携して、延べ1,349名の参加を得られました。多彩なプログラムを地域の力と連携して実施し、多くの参加者に本物の文化芸術を体験してもらえたことは、施策目的の達成に寄与できたとと言えます。					
総合評価	19年度については、個々のプログラムに関してはアンケートで満足や参加継続意思を示した方がいずれも95%を超え事業の満足度は高く、また、参加団体数、応募率とも目標値を達成できました。一方、一部の種目の応募率が50%強にとどまったことから、意図する成果に対して概ね計画通りに事業を推進し、成果を上げたと判断し、評価をBとします。3年間では、延べ32の地域文化団体等と連携して多彩なプログラムを実施することで、延べ1,349名の参加を得られ、また、実定員に対する応募者数の割合も毎年ほぼ達成できている状況にあり、それぞれの成果指標も達成できていることから、地域文化活動の活性化を促進することができたと判断し、評価をBとします。							B
								過年度評価
改革方針								18年度 B 17年度 B 16年度 15年度
	18年度までは主に小中学生を対象（一部プログラムは幼児、高校生も対象）としましたが、19年度から、対象の範囲を一般にも広げました。また実施期間についても、夏休みを中心に実施してきましたが、冬休みや秋にも拡大実施しました。今後は、成人向けのプログラムを増加するとともに、春にも実施するなど、対象者や実施期間を拡大し、本物の文化・芸術に触れることができる機会の拡充に努めるとともに、第一次実行計画「78文化体験プログラムの展開」に引き継ぎ、取り組んでいきます。							4 拡大